

2022年度第1回教育イノベーション大会運営委員会議事録

- I. 日時 令和4年7月16日(土) 10:00~11:30
場所 Zoom 会議室
- II. 出席者 向殿委員長、二瓶委員、井川委員、松山委員、望月委員、浜委員、菱山委員、大津委員、原田委員、寺田委員、藤本委員、木村トバ伊
事務局：井端事務局長、野本
- III. 委員の紹介
今年度から委嘱の委員が5名おり、名簿順に紹介を行った。
- IV. 検討事項
1. 2022年度「私情協 教育イノベーション大会」の開催要項案について検討を進めた。
- (1) 開催日、開催趣旨について確認がされた。
- ・ 今年度は、9月6日、7日、8日にオンラインで開催することにした。
 - ・ テーマは、「学びの自由度・質を高めるDXへの取組みと人材の育成」とし、ニューノーマルにおける大学の教育改革の方向性を共有する中で、学修者本位の教育、DXの取組み、グローバル人材育成、学修行動データによる学修分析、学生のメンタルヘルス、スタートアップ教育など理解の促進を図ることにした。
- (2) 全体会について確認がされた。
- ・ 全体会は、講演形式で進め、①ニューノーマルにおける高等教育の姿と国の支援、②世界を意識した人材の育成、③社会のDX活用、④グローバル人材の育成、⑤教育DXに向けた学びのプラットフォーム、⑥起業教育に対する国の支援の取組みの構成案が提示され、内容が確認された。
 - ・ どのような人材を育成すべきか大学が考えるべきではないか、世界に目を開き、教育・人材育成に向けた姿勢を振り返るべきではないか。
 - ・ 委員の意見では、「全体的にバランスが良い、関心のある内容と考える」、「学生のメンタルヘルス問題は大事だと考える」、「企業の取組みは興味を持って聞けると思う」、「文科省の施策に対して大学全体での取組みにつなげたい」、「文系でのデータサイエンスは興味ある」、「ベンチャーキャピタルの取組みも進んでおり興味あると思われる」、「大学では表層的で目的と手段が逆転している場合もあり振り返りとなることを期待している」、「冒頭の挨拶で、学びの自由度、大学改革を実現するのは大学人であり、体験者は学生で未来に向けての責務であるとのテーマの意味を話してはどうか」などの意見があった。
- (3) 分科会について確認がされた。
- ・ 分科会は、オンライン2会場で10の分科会を構成した。
 - ・ 各分科会は、A: DXの試み、B: メンタルヘルス、C: オンライン授業、D: スタートアップ教育、E: COIL、F: 著作権、G: ラーニングアナリティクス、H: データ活用力育成、I: オンライン授業の学修評価、J: データサイエンス・AI授業の実践事例、の構成・概要が確認された。
- (4) 開催要項の発信
- ・ 三日目の発表者は次回委員会で確定させることにした。
 - ・ 開催要項案が確認され、講師の調整を行った上で開催要項を各大学に発信することにした。
- V. 今後のスケジュール
次回の運営委員会は、7月27日に開催し、三日目発表者確定と役割分担について検討することにした。